

科目名	科目区分		授業方法
関係法規・制度	必修科目	関係法規・制度	講義
対象学年	実務経験	担当教員	授業時間
2年	-	学科講師	33時間
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師国家試験 学科試験 合格（8割以上の得点） 		
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・公益社団法人 日本理容美容教育センター「関係法規・制度」 ・美容師法関係法令集 ・プリント 		
評価方法	筆記試験、出席状況		
授業計画	項目と内容		
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法制制度の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・社会生活における法の役割 ・法の形式 ・衛生法規の概要 ・美容師法と附属法令 2. 衛生行政の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・衛生行政の意義と歴史 ・生成行政の分類と生活衛生行政の内容 ・衛生行政を担う行政機関 3. 美容師法 <ul style="list-style-type: none"> ・目的 ・用語の定義 ・人(美容師)に関する規定 <p>○まとめと試験、確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設(美容所)に関する規定 ・立入検査と環境衛生監視員 ・違反者等に対する行政処分 ・罰則 <ol style="list-style-type: none"> 4. 関連法規 <ul style="list-style-type: none"> ○まとめと試験、確認 国家試験対策 		

科目名	科目区分		授業方法
衛生管理	必修科目	衛生管理	講義
対象学年	実務経験	担当教員	授業時間
1・2年	-	学科教員	96時間
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師国家試験 学科試験 合格（8割以上の得点） 		
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・公益社団法人 日本理容美容教育センター「衛生管理」 ・プリント 		
評価方法	筆記試験、出席状況		
授業計画	項目と内容		
	1. 公衆衛生 ・公衆衛生の概要 ・保健 2. 環境衛生 ・環境衛生 ○まとめと試験、確認 3. 感染症 ・感染症の総論 ・感染症の各論 4. 衛生管理技術 ・消毒法総論 ○まとめと試験、確認 ・消毒法各論 ・消毒法実習 5. 衛生管理の実践例 ○まとめと試験、確認 国家試験対策		

科目名	科目区分		授業方法
保健	必修科目	保健	講義
対象学年	実務経験	担当教員	授業時間
1・2年	-	学科教員	96時間
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師国家試験 学科試験 合格（8割以上の得点） 		
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・公益社団法人 日本理容美容教育センター「保健」 ・プリント 		
評価方法	筆記試験、出席状況		
授業計画	項目と内容		
	<p>1. 人体の構造及び機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頭部、顔部、頸部の体表解剖学 ・骨角器系 ・筋系 ・神経系 ・感覚器系 ・血液・循環器系 ・呼吸器系 ・消化器系 <p>○まとめと試験、確認</p> <p>2. 皮膚科学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皮膚の構造 ・皮膚付属器官の構造 ・皮膚の循環器系と神経系 ・皮膚と皮膚付属器官の生理機能 <p>○まとめと試験、確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皮膚と皮膚付属器官の保険 ・皮膚と皮膚付属器官の疾患 <p>○まとめと試験、確認</p> <p>国家試験対策</p>		

科目名	科目区分		授業方法
化粧品化学	必修科目	化粧品化学	講義
対象学年	実務経験	担当教員	授業時間
1・2年	-	学科教員	66時間
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師国家試験 学科試験 合格（8割以上の得点） 		
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・公益社団法人 日本理容美容教育センター「化粧品化学」 ・プリント 		
評価方法	筆記試験、出席状況		
授業計画	項目と内容		
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 化粧品概論 <ul style="list-style-type: none"> ・化粧品の社会的意義と品質特性 ・化粧品の規制 ・化粧品の安定性と取り扱い上の注意 ・化粧品と安全性 2. 化粧品用原料 <ul style="list-style-type: none"> ・化粧品の対象となる人体各部の性状 ・水性原料・油性原料 ・界面活性剤 ・高分子化合物 ・色材・香料・その他の配合成分 ・ネイル、まつ毛エクステンション用材料 ○まとめと試験、確認 3. 基礎化粧品 <ul style="list-style-type: none"> ・皮膚洗浄用化粧品 ・化粧水 ・クリーム・乳液・その他の基礎化粧品 4. メイクアップ用化粧品 <ul style="list-style-type: none"> ・メイクアップ用化粧品の種類と剤形 ・ベースメイクアップ化粧品 ・ポイントメイクアップ化粧品 5. 頭皮・毛髪用化粧品 <ul style="list-style-type: none"> ・シャンプー剤 ・スタイリング剤 ・パーマ剤 ・ヘアカラー製品 ・育毛剤 6. 芳香製品と特殊化粧品 <ul style="list-style-type: none"> ・芳香製品・特殊化粧品 ○まとめと試験、確認 国家試験対策 		

科目名	科目区分		授業方法
文化論	必修科目	文化論	講義
対象学年	実務経験	担当教員	授業時間
1・2年	-	学科教員	66時間
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師国家試験 学科試験 合格（8割以上の得点） 		
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・公益社団法人 日本理容美容教育センター「文化論」 ・プリント 		
評価方法	筆記試験、出席状況		
授業計画	項目と内容		
	<p>1. 総論</p> <p>2. 日本の理容業・美容業の歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理容業・美容業の発生 ・江戸時代の理容業・美容業 ・近代の理容業・美容業 ・現代の理容業・美容業 <p>3. ファッション文化史 日本編</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縄文・弥生・古墳時代 ・古代(飛鳥・奈良・平安時代) ・中世(平安末・鎌倉・室町・戦国時代) ・近世Ⅰ(戦国末・安土桃山時代) ・近世Ⅱ(江戸時代) ・近代(明治・大正・昭和20年まで) ・現代Ⅰ(1945年～1950年代)・現代Ⅱ(1960年代～1970年代) ・現代Ⅲ(1980年代～1990年代)・現代Ⅳ(2000年代以降) <p>○まとめと試験、確認</p> <p>4. ファッション文化史 西洋編</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古代エジプト ・古代ギリシャ・ローマ ・古代ゲルマン ・中世ヨーロッパ ・近世Ⅰ(16世紀)・近世Ⅱ(17世紀)・近世Ⅲ(18世紀) ・近代Ⅰ(18世紀末～19世紀初め)・近代Ⅱ(19世紀) ・現代Ⅰ(1910年代～1920年代)・現代Ⅱ(1930年代～1940年代前半) ・現代Ⅲ(1940年代後半～1950年代) ・現代Ⅳ(1960年代)・現代Ⅴ(1970年代)・現代Ⅵ(1980年代) ・現代Ⅶ(1990年代～2010年) <p>5. 礼装の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和装の礼装・洋装の礼装 <p>○まとめと試験、確認 国家試験対策</p>		

科目名	科目区分		授業方法
美容技術理論	必修科目	美容技術理論	講義
対象学年	実務経験	担当教員	授業時間
1・2年	美容室勤務9年管理美容師	専任教員(美容師)	159時間
到達目標	・美容師国家試験 学科試験 合格(8割以上の得点)		
使用教材	・公益社団法人 日本理容美容教育センター「美容技術理論1・2」 ・プリント		
評価方法	筆記試験、出席状況		
授業計画	項目と内容		
	美容技術理論を学ぶにあたって 1. 美容用具 2. シャンプーイング 3. ヘアデザイン ○まとめと試験、確認 4. ヘアカットイング 5. パーマネントウェービング ○まとめと試験、確認 6. ヘアセティング 7. ヘアカラーリング ○まとめと試験、確認 8. エステティック 9. ネイル技術 10. メイクアップ 11. 日本髪 12. 着付けの理論と技術 ○まとめと試験、確認 国家試験対策		

科目名	科目区分		授業方法
運営管理	必修科目	運営管理	講義
対象学年	実務経験	担当教員	授業時間
2年	-	学科教員	33時間
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師国家試験 学科試験 合格（8割以上の得点） 		
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・公益社団法人 日本理容美容教育センター「運営管理」 ・プリント 		
評価方法	筆記試験、出席状況		
授業計画	項目と内容		
	<ul style="list-style-type: none"> 1. 経営者の視点 <ul style="list-style-type: none"> ・経営とは・経営者とは ・理容業・美容業の経営について ・資金の管理 2. 人という資源 従業員としての視点 <ul style="list-style-type: none"> ・人という資源 ・健康・安全な職場環境の実現 ・従業員としての視点から 3. 顧客のために <ul style="list-style-type: none"> ・サービス・デザイン ・マーケティング ・サービスにおける人の役割 ○まとめと試験、確認 国家試験対策 		

科目名	科目区分		授業方法
美容実習	必修科目	美容実習	講義
対象学年	実務経験	担当教員	授業時間
1・2年	美容室勤務9年管理美容師	専任教員(美容師)	948時間
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師国家試験 実技試験 合格 		
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・公益社団法人 日本理容美容教育センター「美容実習1・2」 ・プリント 		
評価方法	実技試験、出席状況		
授業計画	項目と内容		
	<ul style="list-style-type: none"> ・接客マナー ・シャンプー ○確認チェック ・ワインディング ウィッグの濡らし方 ブロッキングのラバーのとめかた ブロッキングの取り方 ロッド準備・スライスとシェープ 巻き方(上巻き、オンベースと1/2オフベース、下巻き、センター、フロントの巻き方、バックサイド巻き方) ○確認チェック ・カッティング シザーワーク レイヤーカット(ブロッキング、アウトラインガイド設定、ブロック、フロントのガイド設定～もみあげをつなぐ、トップ～フロント～サイド&チェックカット) ○確認チェック ・オールウェーブセッティング ローション塗布 1段目(馬蹄形シェープ、スカルプチュアカール) 2段目 ウェーブの作り方 3段目 ウェーブ&スカルプチュアカール 4段目 ウェーブ&右リフトカール 5段目 ウェーブ&左リフトカール ○確認チェック ・カラー ・サロンワーク ・国家試験対策 大1課題、第2課題、シュミレーション 		

科目名	科目区分		授業方法
専門教養科目	選択必修科目	特別実習	講義・実習
対象学年	実務経験	担当教員	授業時間
1・2年	美容師・美容部員	美容師	321時間
到達目標	専門技術を兼ね備えた美容師になる		
使用教材	専門資料配付・メイクボックス・ネイル用具一式・着付け用具一式・美容技術理論1 2		
評価方法	実技試験、出席状況・検定作品作成・校内コンテスト出品		
授業計画	項目と内容		
	<p>○着付け</p> <p>1. 着物の種類及び各部の名称・帯の種類・道具の種類名前 2. 着付けの作法・着物のたたみ方 3. 体型補正 4. 肌襦袢・長襦袢の着付け 5. 小紋着付け 6. 帯結び二重太鼓 6. 訪問着・留袖着付け 7. 振り袖着付け 8. 振り袖帯結び 9. 着物のヘアスタイル 10. 浴衣着付け 11. 新種帯結び</p> <p>○メイク</p> <p>1. 道具の名称 2. スキンケア 3. ベースメイク 4. アイメイクアップ 5. アイブロウメイクアップ 6. ブラッシュオンメイクアップ 7. ブライダルメイク 8. 自由作品作成審査</p> <p>○ネイル</p> <p>1. ネイルケア 2. ファイリング・キューティクル処理・バッフィング 3. カラーリング(ベースコート・エナメル・トップコート) 4. アートネイル</p> <p>○アイラッシュ</p> <p>1. 道具・材料の名称 2. 衛生管理・カウンセリング 3. テーピング 4. 基本技術 5. フェイスマスク・モデル実習</p> <p>○エステティック</p> <p>1. エステ機械の使用法 2. クレンジング 3. ハンドマッサージ 4. フェイシャルエステ 5. フェイシャルパック</p>		

科目名	科目区分		授業方法
専門教養科目	選択必修科目	カウンセリング	講義・実習
対象学年	実務経験	担当教員	授業時間
1・2年	美容師	美容師	108時間
到達目標	専門知識技術を兼ね備えた美容師になる		
使用教材	専門資料配付・美容技術理論2・美容モード理論		
評価方法	筆記又は実技試験、出席状況		
授業計画	項目と内容		
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 接客の基本（姿勢・身だしなみ） 2. 言葉遣い 3. 観察力 4. コミュニケーション 5. 希望を聞く 6. 提案力 7. クレーム処理方法 8. カウンセリングシートの作成 9. 実践練習（受付からご案内まで） 		

科目名	科目区分		授業方法
専門教養科目	選択必修科目	美容モード理論	講義・実習
対象学年	実務経験	担当教員	授業時間
1年	美容師	美容師	108時間
到達目標	専門知識技術を兼ね備えた美容師になる		
使用教材	専門資料配付・美容技術理論2・美容モード理論		
評価方法	筆記又は実技試験、出席状況		
授業計画	項目と内容		
	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファッションの定義 2. モードのプロセス 3. ファッションのイメージ 4. アートに対するサイエンス 5. モードとファッションテーマ 6. ビジネスとモード 7. ブランド化の条件 8. ファッションディレクション 		

科目名	科目区分		授業方法
一般教養科目	選択必修科目	色彩学・デッサン	講義・実習
対象学年	実務経験	担当教員	授業時間
1年	デザイナー	専任教員	54時間
到達目標	専門技術を身につけた美容師になる		
使用教材	パーソナルカラーリスト検定テキスト・資料配付		
評価方法	筆記又は実技試験、出席状況		
授業計画	項目と内容		
	<p>○色彩学</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 色彩と文化 四季の色 色の歴史 色と生活 色の種類 2. 色彩理論 色のしくみ CUS表色系 配色効果 色の感情効果 3. 色彩とファッション ファッション概論 ブライダルと色彩 4. パーソナルカラー 特徴 パーソナルシーズンカラー120 <p>○デッサン</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. デッサンの基礎 遠近法 陰影 錯覚現象 デザインの原理 2. デッサンの応用と実技 		

科目名	科目区分		授業方法
一般教養科目	選択必修科目	日本語	講義・実習
対象学年	実務経験	担当教員	授業時間
1年	フリーアナウンサー	専任教員	54時間
到達目標	専門技術を身につけた美容師になる		
使用教材	アクセント辞典・資料配付		
評価方法	筆記又は実技試験、出席状況		
授業計画	項目と内容		
	1. 日本語の基本 ・ 謙譲語・丁寧語・尊敬語 2. 発声練習基本 ・ 早口言葉 ・ 濁音 ・ 鼻濁音 3. アクセントの基礎 ・ 平板・頭アクセント・尾アクセント 4. 原稿作成の基本 ・ 原稿の読み方の基本・応用実技朗読		